

科目名	消費者法	
担当者	飯田 泰雄 / IIDA, Yasuo	
科目情報	法律 / 選択 / 後期 / 講義 / 2 単位 / 3 年次	
科目概要	授業内容	現代社会における消費者問題の実態を明らかにするとともに、消費者の権利実現に向けての法的諸方策について概説する。
	到達目標	消費者の権利を中心とする消費者法を把握し、民法や商法、独禁法や行政法などのいろいろな法律がそれと如何にかかわっているかについて理解する。
授業計画	(1) 消費者問題の歴史 (2) 市場経済と消費者 (3) 消費者の特質と消費者の権利 (4) 消費者契約の適正化 (5) 消費者と公正自由な競争 (6) 特定商取引法 (7) 商品の安全性の確保 (8) 製造物責任 (9) 商品の適正な表示の確保 (10) 消費者信用 ① サラ金 (11) 消費者信用 ② クレジット (12) 金融商品取引法 (13) 消費者運動と消費者団体 (14) 消費者行政 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・講義で触れられた裁判例などについても原文にあたっておくこと。
使用教材・参考文献	【教】 杉浦市郎編「新・消費者法これだけは」(法律文化社) 2,730 円、2010 年、ISBN978-4-589-03023-8 【参】 正田彬「消費者の権利 新版」(岩波新書) 756 円、2010 年、ISBN978-4-00-431232-1	
成績評価方法と基準	期末試験 (50 点) 平常点 (50 点)	
備考	民法の契約法と不法行為法を履修していることが望ましい。	